

# ＜オンラインセミナーのご案内＞

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 422 (通算 754 回)

2021年10月11日(月)

学生を主体に、より充実した柔軟な学びの提供

## 学士課程における副専攻プログラムの創意と実際

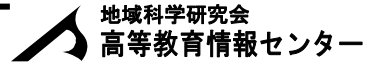
～ 第二の専攻分野／脱学部学科制／教学M／単位数と修了要件／認定証書の授与 ～

- ※ 新構想大学の制度設計「教教分離」／学部～学士課程～学位プログラム／新カリキュラムモデル
- ※ [新潟大] 教育改革～副専攻制度導入と主専攻プログラム化／「NICEプログラム」の展開
- ※ [聖心女子大]「基礎課程」と「学科・専攻」／「主専攻」と「副専攻」／3副専攻の特徴と今後
- ※ [敬愛大] 3副専攻の取組みと実際～「A I・D S」・「NARITA 地域産業学」・「日本語教員養成」
- ※ [立教大]「グローバル教養副専攻」の取組み～修了要件に「海外体験」／テーマ「D S」の実際

### ● 講師陣 ●

- 清水 一彦 氏 / (国) 山梨大学 理事・副学長  
 神田麻衣子 氏 / (国) 新潟大学 教育・学生支援機構 特任准教授  
 竹岡 篤永 氏 / (国) 新潟大学 教育・学生支援機構 特任准教授  
 植田 誠治 氏 / 聖心女子大学 副学長 (学務・大学院担当)  
 森島 隆晴 氏 / 敬愛大学 経済学部 教授 教務部長  
 井川 充雄 氏 / 立教大学 全学共通カリキュラム運営センター 部長 社会学部 教授

2021年10月11日(月) オンライン開催



日時：2021年10月11日(月) 10:00 ～ 16:40

会場：オンラインでの開催

ウェブ会議システム

「Zoom (ズーム)」を使用予定です。

※返信メールの送付をもって参加受付となりますので必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名(資料代込) 40,000 円(税込)

B. メディア参加(資料・音声 CD 送付) 43,000 円(送料、税込)

C. 高等教育同人(☆) 20,000 円(税込)

※ メディア参加とは、開催当日に聴講が難しい方の参加形式です。開催後に当日配布資料及び講義の音声を収録した CD を送付します。

※ 当日参加とともに音声 CD をご希望の方には、別途販売もしておりますので、お問い合わせ願います。

※ 参加費の払い戻しは致しません。

☆ 高等教育計画経営研究所同人は KKJ の HP でご確認ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込でお願いいたします。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

口座名 (株) 地域科学研究会

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先：地域科学研究会・高等教育情報センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-3-10

ライオンズマンション平河町 101

Tel:03(3234)1231 Fax:03(3234)4993

E-mail : kkj @ chiikikagaku-k.co.jp

HP : http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

(※参加申込みの折は、必ず FAX か E-mail にてお送りください)

### 研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 421

(該当する□に✓印を)

年 月 日

学士課程における副専攻プログラムの創意と実際

オンライン当日参加

メディア参加

勤務先

必要書類

請求書

見積書

領収書

所在地 (〒 )

(請求書等記載の宛名)

連絡部課・担当者名

TEL

FAX

メールアドレス

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 ～ 11:20	<p>□ 学士課程教育の構造と新カリキュラムデザイン ～学部学科制脱却から48年／教員組織と学生組織の分離は今～ (国) 山梨大学 清水 一彦</p> <p>1. 新制大学の教育制度設計とは (1) 新制大学の成立 (2) 新制大学の二大特色 (3) 学部・学科単位の教育 (4) ルーズな大学システム</p> <p>2. 新構想筑波大学の教育システム設計は？ (1) 新構想筑波大学の特色 (2) 副学長5人制 (3) 学群・学系「教教分離」制度 (4) 革新的な教育システムの採用</p> <p>3. 学部教育から学士課程教育そして学位プログラムへ (1) 学士課程教育への移行 (2) 学位プログラムとは？ (3) 教員の視点から学生の視点へ</p> <p>4. 大学カリキュラム編成論 (1) 大学カリキュラム発展の歴史 (2) 単位制度からみたカリキュラム編成 (3) 内部質保証としてのカリキュラム (質疑応答)</p>
11:30 ～ 12:30	<p>□ [新潟大]「全学分野横断創生プログラム(NICE)」の取組みと実際 ～「学修創生型」・「パッケージ型」・「オナーズ型」／アカデミック・アドバイザーの役割～ (国) 新潟大学 神田 麻衣子 竹岡 篤永</p> <p>1. 新潟大学の教育改革 (1) 教育改革の流れ (2) 副専攻制度の導入 (3) 主専攻プログラム化 (4) 創生学部の新設</p> <p>2. NICEプログラムの展開 (1) ねらいと概要 (2) メジャー・マイナー制とは (3) マイナーの3カテゴリー (4) マイナー学修のプロセス</p> <p>3. 学修支援の特色 (1) マイナー学修支援科目の新設 (2) ルーブリック評価 (3) アカデミック・アドバイザー制度</p> <p>4. NICEプログラムの実際 (1) 令和3年度1学期の取り組み状況 (2) 今後の課題と展望 (質疑応答)</p>
13:20 ～ 14:20	<p>□ [聖心女子大] 学生の興味・関心に寄り添う「副専攻」制度の取組みと実際 ～ 学科提供型、総合リベラル・アーツ、グローバル共生 ～ 聖心女子大学 植田 誠治</p> <p>1. 多面的な視野を養う教育システム (1) 聖心女子大学の理念と歴史 (2) 教育システムの特徴① - 「基礎課程」と「学科・専攻」 - (3) 教育システムの特徴② - 「主専攻」と「副専攻」</p> <p>2. 「副専攻」制度の特徴 (1) 「副専攻」① - 学科が提供する副専攻 - (2) 「副専攻」② - 総合リベラル・アーツ副専攻 - (3) 「副専攻」③ - グローバル共生副専攻 -</p> <p>3. 「副専攻」制度の課題と今後に向けて (質疑応答)</p>
14:30 ～ 15:30	<p>□ [敬愛大] 3「副専攻」の取組みと実際 ～ AIデータサイエンス／エアポートNARITA地域産業学／日本語教員養成 ～ 敬愛大学 森島 隆晴</p> <p>1. 敬愛大学の概要 (1) 建学の精神、沿革、学部学科組織、収容定員、キャンパス</p> <p>2. 副専攻制度の紹介 (1) 副専攻とは (2) 対象学部</p> <p>3. 副専攻「AI・データサイエンス」の紹介 (1) 開設の背景 (2) 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」の認定 (3) 目的、求める学生像 (4) 修了証明書授与の方針 (5) 学修のメリット (6) カリキュラム (7) 修了に必要な資格 (8) 科目紹介 (9) 履修者の状況 (10) 認知向上・履修者増加のための取り組み</p> <p>4. 副専攻「エアポートNARITA地域産業学」の紹介 (1) 開設の背景 (2) 目的 (3) 修了証明書授与の方針 (4) カリキュラム (5) 履修モデル (6) 科目紹介 (7) 履修者の状況 (8) 認知向上・履修者増加のための取り組み</p> <p>5. 副専攻「日本語教員養成課程」の紹介 (1) 開設の背景 (2) 目的 (3) 修了証明書授与の方針 (4) カリキュラム (5) 科目紹介 (6) 目指せる進路 (質疑応答)</p>
15:40 ～ 16:40	<p>□ [立教大]「グローバル教養副専攻」の取組みと実際 ～ 「海外体験」を取り入れた副専攻制度／テーマ「データサイエンス」の実例 ～ 立教大学 井川 充雄</p> <p>1. 立教大学におけるリベラルアーツ教育 (1) 立教大学の概要 (2) 一般教育部から全カリへ (3) 学士課程統合カリキュラム(Rikkyo Learning Style)の確立 (4) 大学のグローバル化に向けて</p> <p>2. 「グローバル教養副専攻」の概要 (1) プログラムの概要～3コース&amp;テーマ (2) 「海外体験」の実際 (3) 「グローバル教養副専攻」の評価と課題 (4) コロナ禍の中で</p> <p>3. テーマ「データサイエンス」の取組み (1) 社会情報教育研究センターの活動 (2) テーマ「データサイエンス」の構成 (3) 今後のデータサイエンス教育に向けて (質疑応答)</p>